

PTA活動紹介		部門	安全
学校名	愛知県立岡崎聾学校	No	3
活動テーマ	教育講演会		
開催日	平成27年11月6日(金曜日)		
場所	岡崎聾学校 体育館		
時間	9時40分～11時00分		
参加者	中学部、高等部の生徒 54名 幼稚部から高等部までの保護者(希望者のみ) 21名		
趣旨	東日本大震災を実際に体験された語り部から震災によって得られた教訓について話を聞くことで、防災意識の向上を図り、発生が予想される南海トラフと地震等の広域大規模災害に備える。また、生徒と一緒に聞くことで、家庭での話題とし、災害に対する意識を高める。		
活動ポイント	保護者と生徒と一緒に講演を聞くことで、家庭での災害に対する意識を高める。		
主体委員会名・講師名等	平成27年度東日本大震災津波等語り部派遣事業を活用 講師: 関上 震災を伝える会 菊地 訓子氏		

「講演内容」

演題:「命をつなげるために」東日本大震災から学んだこと

- ・講師経歴
- ・宮城県、閉上地区の紹介
- ・震災の前の閉上地区の様子
- ・震災の瞬間
- ・震災時…街を埋め尽くした津波・火災
- ・震災翌日…様子、救助活動、津波の力
- ・なぜ閉上の住民約750名が亡くなったのか?
- ・あれから4年後
- ・これからの閉上
- ・東日本大震災から学んだこと
- ・命を守るために。命をつなげるために大切なこと
- ・皆さんにお願いしたいこと
- ・震災の中で子どもたちの行動
- ・震災後 学校が心の拠り所

◎命を守ることの大切さについて、ご自身の経験をたくさんの写真とともにお話いただいた。これから求められることとして、防災教育の充実、減災、地震時の行動、「危険な場所には戻らない」、「家族間で知っておくこと」、「近所のコミュニケーション」等、命を守るための行動を教えていただいた。また、命を大切にすること、震災時の人と人のつながり、他人を思いやる心、あきらめない気持ちの大切さなど、心の面での大切なこともたくさん教えていただいた。講演をお聞きして涙が止まらない保護者もいらした。生徒らが書いたお礼状の中では、家族で話し合いたいという言葉が多数書かれていた。

「講演会の進め方」

司会進行: PTAグループ活動班が中心となって進める。

- ・開会の言葉
- ・PTA会長挨拶
- ・校長挨拶
- ・講師紹介
- ・講演
- ・質疑応答
- ・生徒代表(生徒会長)お礼の言葉

PTA役員が司会進行を行い講演会を進めている



話を聞き、内容を理解しようと手話通訳者を熱心に見る生徒たち



お礼を述べる生徒会長